

年間スケジュール
2026—2027

能楽堂

YOKOHAMA
NOH THEATER



横浜能楽堂へ。 ようこそ！



横浜能楽堂は、横浜の海を望む高台に建つ、本格的な見所(客席)、楽屋を備えた横浜市内唯一の能楽堂です。平成8(1996)年、市内に能楽堂をという市民の強い要望により、建てられました。横浜能楽堂の本舞台は、明治8(1875)年、現在の東京国立博物館に程近い東京・上根岸の旧加賀藩主・前田齐泰の隠居所の一角に建てられたものを移築した歴史ある能舞台です。

横浜能楽堂では、幅広い人たちに能・狂言を知ってもらいたいと、「敷居は低く奥行きは深く」をコンセプトに、多様なニーズに応える事業を行っています。また、公演を鑑賞するだけでなく、気軽に能・狂言の世界に触れていただけるよう、無料の施設見学会や展示なども行っています。

令和8(2026)年、横浜能楽堂は約2年半の改修工事期間を経て再開館します。また本年は、開館30周年の節目の年にあたり、年間を通して華やかで祝祭性の高いプログラムをお送りします。

能・狂言とは

能と狂言は、切っても切り離せない関係にある芸能で、二つを合わせて「**能楽**」^{のうがく}といえます。**能と狂言**は650年以上演じられ続けられており、日本最古の舞台芸術と言われていいます。

能はミュージカルのように、**囃子**^{はやし}と呼ばれる楽器の演奏、**謡**^{うたい}と呼ばれる歌やセリフ、**所作**^{しよさ}や**舞**^{まい}と呼ばれる動きやダンスから成り立っています。内容は古典文学作品や説話などを題材とした格調高いものとなっていて、抑制された動きで登場人物のキャラクターや心情を表現します。また、能面と呼ばれる仮面を用いる仮面劇であるという点も能の特徴の一つです。

狂言は、能と同じく能舞台上で演じられる喜劇性の強い芸能です。中世の人々の日常に題材を採り、人情の機微や社会風刺、人間の愚かさや悲哀などを「無邪気な笑い」でもって描く、会話を中心に進行するセリフ劇です。

能と狂言は、古くは一つの芸能でしたが、南北朝時代(1337年-1392年)には、歌舞を中心とした能とセリフ劇である狂言に分かれていたといわれています。能は室町幕府3代将軍・足利義満の支援を受けた世阿弥により大成され、江戸時代中期頃には、狂言とともに、大名を中心とした武家の好みに合わせ、芸術性の高い芸能として完成しました。

能と狂言は、**文楽**^{ぶんらく}、歌舞伎、沖縄の**組踊**^{くみおどり}といった他の古典芸能や、現代の映画や文学作品など芸術分野に大きな影響を与えています。

能と狂言は**能楽**として、2001年にユネスコによる第一回の「人類の口承及び無形遺産の傑作(世界無形文化遺産)」に、日本の芸能として初めて宣言されました。

2026年7月4日[土] 午後2時開演 再開館記念公演 第1日

約2年半の改修工事を終え、再開館する横浜能楽堂。新たな門出を記念して、2日間にわたり特別なプログラムをお送りします。第1日は、祝祭性・儀式性が強く「能にして能にあらず」と言われるほど特異な位置付けにある「**翁**」。老松の精が舞を舞い、御代を寿ぐ舞囃子「**老松**」。狂言の中でも祝言曲の代表的作品「**末広**」。舞台上に12体の龍神・龍女が登場し、一大スペクタクルを展開する能「**春日龍神 龍神揃**」を上演します。

「翁」(観世流)	観世清和
舞囃子「老松」(観世流)	大槻文藏
狂言「末広」(大蔵流)	山本東次郎
能「春日龍神 龍神揃」(宝生流)	宝生和英



「翁」(観世流) 撮影:前島吉裕

チケット発売: 2026年5月8日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月1日[金] 正午~5月6日[水]
S席 12,000円 | A席 10,000円 | B席 8,000円

2026年7月5日[日] 午後2時開演 再開館記念公演 第2日

第2日も、「**翁**」で幕を開けます。海に住む酒好きの精・狸々が、酒を飲んで波間に舞い戯れる様子を、特殊な足遣いを用いて表現する舞囃子「**乱 双ノ舞**」。長寿と人生の節目を祝う狂言「**才宝**」。羽衣をまとい、月の神秘や美しさを称え、数々の宝を降らせて天高く昇っていく天女の舞がみどころの能「**羽衣 舞込**」を上演します。

「翁」(金剛流)	金剛永謹
舞囃子「乱 双ノ舞」(金春流)	金春安明 金春恵和
狂言「才宝」(和泉流)	野村萬
能「羽衣 舞込」(喜多流)	友枝昭世



「翁」(金剛流) 提供:金剛能楽堂

チケット発売: 2026年5月8日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月1日[金] 正午~5月6日[水]
S席 12,000円 | A席 10,000円 | B席 8,000円

2026年8月1日[土] 午後2時開演 こども狂言堂

狂言を初めて観るこどもでも楽しめるように、「セリフや動作が面白い」「登場人物のバリエーションがある」等の視点で厳選した演目を2曲鑑賞した後、人間国宝・山本東次郎自らがこどもたちに向けて、「狂言の面白さ」を分かりやすく解説します。

狂言「柿山伏」(大蔵流) 他
お話 山本東次郎



狂言「柿山伏」(大蔵流) 撮影:尾形美砂子

チケット発売: 2026年5月15日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月5日[火祝] 正午~5月7日[木]
おとな 2,500円 | こども 500円

2026年8月9日[日] 午後2時開演 開館30周年記念 特別公演

人間国宝・野村万作と、子・萬斎、孫・裕基、それぞれが狂言のシテ(主役)をつとめる、三代の芸を楽しめる公演です。始めは茶屋で出くわした横柄な山伏とおとなしい禰宜が唎くらべをする様子が面白い「**禰宜山伏**」を野村裕基が演じ、次は男女の出会いを美しく描く「**清水座頭**」で野村万作の芸をご堪能いただけます。最後は、和泉流だけで上演される演目で、大勢の立衆で賑やかな「**弓矢太郎**」を野村萬斎のシテでお送りします。

狂言「禰宜山伏」(和泉流)	野村裕基
狂言「清水座頭」(和泉流)	野村万作
狂言「弓矢太郎」(和泉流)	野村萬斎



狂言「清水座頭」(和泉流) 撮影:金の星漫写写真場

チケット発売: 2026年5月22日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月12日[火] 正午~5月14日[木]
S席 6,000円 | A席 5,000円 | B席 4,000円

2026年 9月13日[日] 午後2時開演

第71回 横浜能

「横浜能」は、昭和28年に第1回が開催されて以来、70年近くにわたり横浜市内の能楽実演・愛好者団体である横浜能楽連盟が中心になり開催してきた歴史ある催しです。横浜ゆかりの能楽師の出演や、横浜ゆかりの演目で開催しています。今年は祝祭感あふれる番組でお送りします。文殊菩薩の霊獣である獅子の舞が見どころの能の大曲、能「石橋」を「大獅子」の演出で上演。横浜市在住で芸術院賞受賞の梅若紀彰と、梅若景英の二人が舞います。また、朗らかな笑いを誘う、狂言「鍋八撥」は山本則重が演じます。

狂言 「鍋八撥」(大藏流) 山本則重
能 「石橋 大獅子」(観世流) 梅若紀彰 梅若景英



能「石橋」(観世流) 提供:公益財団法人梅若会

チケット発売: 2026年5月29日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月19日[火] 正午~5月21日[木]
S席 8,000円 | A席 6,000円 | B席 5,000円

2026年 9月26日[土] 午後2時開演

開館30周年記念 特別公演

京都の狂言の名家・茂山千五郎家による狂言尽くしの特別公演。当主の茂山千五郎や人間国宝の茂山七五三ら、茂山千五郎家が勢揃いします。狂言初心者でも楽しめる「千鳥」「髭櫓」から、大曲として重く扱われている「狸腹鼓」まで、バリエーション豊かな作品を揃えました。中でも「狸腹鼓(俗称「彦根狸」)」は、彦根藩主で大老の井伊直弼が作り、彦根藩お抱え狂言師であった茂山千五郎に与えた特別な演目で、井伊直弼ゆかりの掃部山公園(かもんやまこうえん)の一角に建つ横浜能楽堂にとっても関係の深い、開館30周年記念ならではの演目と言えます。

狂言 「千鳥」(大藏流) 茂山あきら
狂言 「狸腹鼓」(大藏流) 茂山千五郎
狂言 「髭櫓」(大藏流) 茂山七五三



狂言「狸腹鼓」(大藏流) 撮影:川西善樹

チケット発売: 2026年5月22日[金] 正午
LINE友だち先行: 2026年5月12日[火] 正午~5月14日[木]
S席 6,000円 | A席 5,000円 | B席 4,000円

2026年 10月24日[土] 午後2時開演

開館30周年記念 特別公演

一流の演者により、これぞ能・狂言!と言える作品を堪能することができます「特別公演」。10月は、地獄の主・閻魔大王の前に現れた罪人が差し出した手紙の送り主とは!?恐ろしいはずの閻魔をユーモラスに描いた、異色の大曲、狂言「八尾」を名古屋の名家・野村又三郎家の出演によりお送りします。能は、多くの名歌を残した西行法師と老桜の精が交わす一夜の交流を詩情豊かに描いた名曲、能「西行桜 杖之型」を横浜市在住の人間国宝・大坪喜美雄が演じます。

狂言 「八尾」(和泉流) 野村又三郎
能 「西行桜 杖之型」(宝生流) 大坪喜美雄



能「西行桜」(宝生流) 提供:公益社団法人宝生会

チケット発売: 2026年7月11日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)
LINE友だち先行: 2026年7月7日[火] 正午~7月9日[木]
S席 8,000円 | A席 6,000円 | B席 5,000円

2026年 12月12日[土] 午後2時開演

開館30周年記念企画公演 首里城 慶祝の宴

2026年は、横浜能楽堂の再開館と開館30周年、そして沖縄のシンボル首里城の再建が予定される年にあたります。首里城は、琉球王朝の王城であるとともに組踊や古典舞踊など、琉球芸能が育まれた場でもありました。本公演では、首里城再建を祝し、新たに創作した組踊を初演するほか、人間国宝をはじめ名手たちによる古典舞踊や古典音楽の数々を上演します。受け継がれてきた琉球芸能の技と美、そして新たな可能性を体感いただける公演です。

女踊 「諸屯」 宮城幸子
女踊 「稲まづん」 志田房子 他



女踊「稲まづん」

チケット発売: 2026年9月12日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)
LINE友だち先行: 2026年9月8日[火] 正午~9月10日[木]
S席 7,000円 | A席 6,000円 | B席 5,000円

2026年 12月20日[日] 午後2時開演

開館30周年記念普及公演 眠くならずに楽しめる能の名曲

予備知識が無くても楽しめる横浜能楽堂の人気企画「眠くならずに楽しめる能の名曲」。今回は、賀が舅への土産に持参した酒をめぐる船上でのやりとりが面白い狂言「舟渡髯」と、前半の静御前の美しい舞、後半の平知盛の霊の迫力ある動き、一曲で能の対照的な魅力を堪能できる「船弁慶」。“船”を題材にした二曲をお届けします。上演前には横浜能楽堂芸術監督・中村雅之によるお話「大きな船 小さな舟」もあり、初めての方でも安心してご覧いただける公演です。

トーク 中村雅之(横浜能楽堂芸術監督)
狂言 「舟渡髯」(和泉流) 井上松次郎
能 「船弁慶 遊女ノ舞・替ノ出」(金春流) 山井綱雄



能「船弁慶」(金春流) 撮影:辻井清一郎

チケット発売: 2026年9月12日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)
LINE友だち先行: 2026年9月8日[火] 正午~9月10日[木]
S席 5,000円 | A席 4,000円 | B席 3,500円

2027年 3月22日[月休] 午後2時開演

バリアフリー能

障がいのある方もない方も一緒に能・狂言を楽しんでいただく公演。介助者1名無料、点字チラシ・パンフレット、音声ガイド、手話通訳、上演時字幕配信など様々なサポートをご用意してお待ちしています。今年は大名と昆布売りの立場の逆転が面白い狂言「昆布売」と、祝賀の雰囲気満ちた、めでたく爽やかな能「岩船」をお送りします。

狂言 「昆布売」(和泉流) 三宅右近
能 「岩船」(喜多流) 狩野了一



チケット発売: 2027年1月16日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)
LINE友だち先行: 2027年1月12日[火] 正午~1月14日[木]
S席 5,000円 | A席 4,000円 | B席 3,500円

公演のほかに、能楽などに関するワークショップも開催予定です。
詳細は横浜能楽堂ウェブサイトをご確認ください。



横浜狂言堂

「横浜狂言堂」は、「第二日曜日は狂言の日」をキャッチフレーズに、お手頃価格の2,500円で、解説と狂言2曲を楽しんでいただく公演です。平成20年1月から毎月公演を重ね、上演回数は190回を超えました。初心者でも足を運びやすいと好評で、狂言やそれぞれの家の魅力を知ってもらい、狂言ファンを増やしている公演です。

[令和8年度の横浜狂言堂スケジュール]

2026年

10月11日[日] お話 深田博治 狂言「呂蓮」(和泉流)石田幸雄 狂言「咲嘩」(和泉流)野村太一郎

チケット発売: 2026年7月11日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年7月7日[火] 正午～7月9日[木])

11月8日[日] お話 野村万蔵 狂言「水掛髻」(和泉流)野村眞之介 狂言「鳴子」(和泉流)野村万之丞

チケット発売: 2026年8月8日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年8月4日[火] 正午～8月6日[木])

12月13日[日] お話 善竹隆司 狂言「二人大名」(大蔵流)大蔵彌太郎 狂言「濯ぎ川」(大蔵流)善竹隆平

チケット発売: 2026年9月12日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年9月8日[火] 正午～9月10日[木])

2027年

1月10日[日] お話 松田高義 狂言「夷大黒」(和泉流)奥津健太郎 狂言「孫髻」(和泉流)野村又三郎

チケット発売: 2026年10月10日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年10月6日[火] 正午～10月8日[木])

2月14日[日] お話 山本東次郎 狂言「素袍落」(大蔵流)山本東次郎 狂言「横座」(大蔵流)山本凜太郎

チケット発売: 2026年11月7日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年11月3日[火祝] 正午～11月5日[木])

3月14日[日] お話 茂山千五郎 狂言「墨塗」(大蔵流)茂山逸平 狂言「栗焼」(大蔵流)茂山千五郎

チケット発売: 2026年12月12日[土] 正午(初日は電話・WEBのみ)

(LINE友だち先行: 2026年12月8日[火] 正午～12月10日[木])

※セット券については、後日ウェブサイトでお知らせいたします。

※セット券はLINE友だちのみご購入いただけます。

チケット購入

横浜能楽堂「オンラインチケット」での購入、もしくは電話予約・購入ができます。

▶ オンラインチケット購入

- 24時間いつでも予約ができます。
 - お客様自身でお席を選べます。
 - 紙のチケットか電子チケット(チケットれすQ)をお選びいただけます。紙のチケットの場合は、お近くの「セブン-イレブン」でお引き取りいただけます。
 - クレジットカードでのお支払いも可能です。
 - 初回ご利用時に利用登録(無料)が必要です。登録後はすぐにご利用いただけます。
- *各種手数料が発生します。

▶ 電話で予約・購入

- 休館中～令和8年6月まで
 - プレイガイド「カンフェティ」にて予約・購入ができます。
 - 予約後は、お近くの「セブン-イレブン」にてお引き取りができます。
 - カンフェティ (Confetti) 050-3092-0051 (平日10:00～17:00)
 - ※お電話がつながり難い状況もございます。予めご了承ください。
- 令和8年7月以降
横浜能楽堂の電話(045-263-3055)または窓口でチケットを購入いただけます。

チケットご購入の際の注意事項につきましては、横浜能楽堂公式ウェブサイトをご確認ください。



狂言「墨塗」(大蔵流)



座席(見所)のご案内

能楽堂の客席は「見所」といいます。見所は、舞台を三方から取り囲むように席が並んでいます。座席番号は、舞台に対し左側の脇正面、中正面、正面までの通し番号です(休館前と一部変更がございます)。

正面

舞台に向かって正面の席。歴史的には将軍・大名たちはこの方向から見ていました。スタンダードな席です。

脇正面

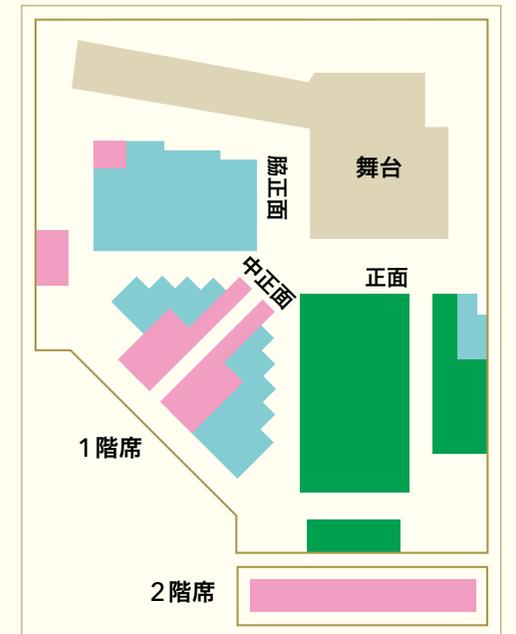
演者が舞台へ出るときに通る橋掛りに沿って設けられた席。舞台を横から見るすることができます。

中正面

舞台に向かって斜めから見ることのできる席。全体を見渡すことができますが、視界に柱が入る場合があります。

2階席

舞台全体が見える席。2階席のある能楽堂は関東では珍しい席です。一度お試しください。



■…S席 ■…A席 ■…B席

横浜能楽堂 LINE 公式アカウント友だち募集中!

横浜能楽堂のLINE公式アカウントを友だち追加すると、横浜能楽堂の最新情報が届くほか、主催公演の先行販売のご案内が届きます。

今後、さまざまな特典が登場する予定ですので、ぜひご登録ください。

※LINE友だち先行販売へのご参加には、別途チケット販売Gettii「LINE友だち会員」へのご登録が必要となります。

※その他詳細につきましては、横浜能楽堂のウェブサイトをご確認ください。

※「横浜能楽堂友の会」は令和5年に終了しています。



横浜能楽堂

YOKOHAMA NOH THEATER

横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
お問合せ: 045-263-3055 (9:00~18:00)



公式HP



電車

- JR「桜木町駅」下車北改札・西口徒歩12分
- 市営地下鉄線「桜木町駅」下車南1出口徒歩12分
- みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩20分
- 京浜急行線「日ノ出町駅」下車徒歩15分

※タクシー利用は各駅とも約5分

バス

- バス停「戸部一丁目」(市営バス: 103、292系統)下車徒歩5分
- バス停「紅葉坂」(市営バス: 8、26、101、105、106系統/
神奈中バス: 横43、港61系統/京急バス: 110系統)下車徒歩9分

※お客様用の駐車場、駐輪場はございません。お車・自転車・自転車等でのご来場はご遠慮下さい。

※2026年2月時点の情報を掲載しております。

※出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

